

PRIDE指標 2020 説明会

2020年5月28日

PRIDE指標運営委員会

事務局：NPO法人グッド・エイジング・エールズ

work with Prideについて (1/2)

- 2012年に日本アイ・ビー・エム株式会社、国際NGOヒューマン・ライツ・ウォッチ、NPO法人グッド・エイジング・エールズが、共同で日本でのLGBTQ従業者支援に関するカンファレンスを企画したことから始まりました。その後、NPO法人虹色ダイバーシティが加わりました。
- 2016年までは、毎年、会場提供を通して企業が仲間に加わり、カンファレンスを運営してきました。
- 2017年からは、20社程度の企業が正式に協賛し、毎年、実行委員会を発足。秋開催のカンファレンスの企画・運営を行なっています。グッド・エイジング・エールズが事務局を担当。
(ヒューマン・ライツ・ウォッチ、虹色ダイバーシティは脱退)

work with Prideについて (2/2)

The poster for 'work with Pride 2019' features a large, stylized 'w' in the background, composed of overlapping geometric shapes in yellow, orange, green, and pink. The text is in a clean, sans-serif font.

work with Pride
2019

work with Pride 2019 開催決定!

日程 2019年10月11日(金)

会場 BASE Q 東京ミッドタウン日比谷 6階
(東京都千代田区有楽町 1-1-2)

テーマ
「ブレイクスルー！」
～新時代に向け、LGBTの取組みを、
もう一歩進めるには?～」

PRIDE 指標 2019

- ◇5月29日(水):説明会
- ◇6月3日(月):募集開始
- ◇8月9日(金):募集締切
- ◇8月10日(土):採点開始
- ◇8月26日(月):採点終了&通知開始
- ◇10月11日(金):発表

なお、「PRIDE 指標 2019」の募集・選考・評価 には、
work with Pride 2019 実行委員会 は関わりません。
PRIDE 指標事務局である、
認定NPO 法人グッド・エイジング・エールズが
独立して行います。

www.workwithpride.jp

work with Pride 2019

「ブレイクスルー！」

～新時代に向け、LGBTの取組みを
もう一歩進めるには?～」

work with Pride 2020

- 11月 (日程・時間は未定)
- オンライン開催
- 実行委員会形式
- 近日中に詳細発表予定

PRIDE指標について (1/4)

- 2016年に日本初の職場におけるLGBTQなどのセクシュアル・マイノリティ (LGBTQ) への取組みの評価指標「PRIDE指標」を策定。
- 策定の目的
 1. LGBTQが働きやすい職場環境構築のためのガイドラインとする
 2. 企業などの取組みを表彰することで働きやすい職場づくりを応援
 3. ベストプラクティスを公開することで広く社会に認識してもらう
- 第5回となる「work with Pride 2016」カンファレンスにて、表彰を実施。
- 5つの指標のそれぞれの項目の基準を満たすと1点、5点満点でゴールド、4点でシルバー、3点でブロンズと認定。
- 特に顕著な取組みを、ベストプラクティスとして表彰。

PRIDE指標について (2/4)

指標	内容
P：Policy 行動宣言	会社としてLGBTQなどのセクシュアル・マイノリティ（LGBTQ）に関する方針を明文化し、インターネット等で社内・社外に広く公開している。
R：Representation 当事者コミュニティ	LGBTQ当事者・アライ（Ally、支援者）に限らず、従業員がLGBTQに関する意見を言える機会を提供している。 また、アライを増やす、顕在化するための取り組みがある。
I：Inspiration 啓発活動	従業員に対して、LGBTQへの理解を促進するための取り組みを行っている。
D：Development 人事制度・プログラム	人事制度・プログラムがある場合、婚姻関係の同性パートナーがいることを会社に申請した従業員およびその家族にも適用している。トランスジェンダー支援の仕組みがある。
E：Engagement / Empowerment 社会貢献・渉外活動	LGBTQへの社会の理解を促進するための社会貢献活動や渉外活動を行っている。

PRIDE指標について (3/4)

- 2017年から、チェック項目式に変更しました。
- 2019年から、評価基準をより厳しくしました。
- 2021年から、さらに評価基準を厳しくする可能性があります。

指標	2016年→2017年・2018年	2019年・2020年
P：Policy 行動宣言	8項目のうち、2つ以上	8項目のうち、2つ以上
R：Representation 当事者コミュニティ	4項目のうち、2つ以上	4項目のうち、2つ以上
I：Inspiration 啓発活動	14項目のうち、2つ以上	9項目（研修）のうち、2つ以上 5項目（その他）のうち、2つ以上
D：Development 人事制度・プログラム	18項目のうち、2つ以上	5項目（同性パートナー）のうち、2つ以上 7項目（トランスジェンダー）のうち、 2つ以上 6項目（全般）のうち、2つ以上
E：Engagement / Empowerment 社会貢献・渉外活動	5項目のうち、2つ以上	5項目のうち、2つ以上

PRIDE指標について (4/4)



- 認定ロゴマークは、各社ホームページ、プレスリリース、名刺、採用パンフレットなどに、ご利用可能 (※但し、1年間のみ有効)
- 所属社員や就活学生や転職希望の方々、またダイバーシティを遵守する会社として広く社会にアピール可能
- work with Prideカンファレンス会場に設置される撮影スポットでの写真をSNSなどで投稿・拡散

「PRIDE指標 2020」について (1/6)

- スケジュール

6月1日（月）：応募受付開始

9月30日（水）：募集締切（※昨年より、約2ヶ月延長）

10月1日（木）：採点開始

10月19日（月）：採点終了、表彰企業決定および通知開始

11月：「work with Pride 2020」にて
結果およびベストプラクティス発表予定

- 「PRIDE指標 2020」レポート
(応募企業に郵送予定／ホームページに掲載予定)



「PRIDE指標 2020」について (2/6)

- 応募資格：

日本法に定めのある法人格を有する法人が、応募できます。

(例:民法上の組合、社団法人および財団法人ならびに会社法上の各種会社、各種特別法に定められる各種法人、地方公共団体等)

- 対象期間：

2019年10月1日～2020年11月30日 (※昨年より2ヶ月延長)

- 応募フォーム（6月1日から）：

www.workwithpride.jp/prideindex/download2020

- 提出先アドレス：**apply@workwithpride.jp**

「PRIDE指標 2020」について (3/6)

- 情報の取り扱いについて
 - ー応募いただいた情報について、PRIDE指標運営委員会による採点および集計のみに利用します。当該情報が外部に開示されることはありません。
 - ーお送りいただいたファイルは、返却しません。
- 採点について
 - ー採点は、PRIDE指標運営委員会の事務局である、グッド・エイジング・エールズが独立して実施。「work with Pride 2020」実行委員会は採点に関与しません。
- 内容について
 - ー内容について、事務局より問い合わせする場合があります。
 - またベスト・プラクティス選定およびwork with Prideカンファレンスのプログラム策定にあたりご相談させていただく場合があります。

「PRIDE指標 2020」について (4/6)

図1 ● 各賞の受賞割合の遷移 (2016年～2019年)

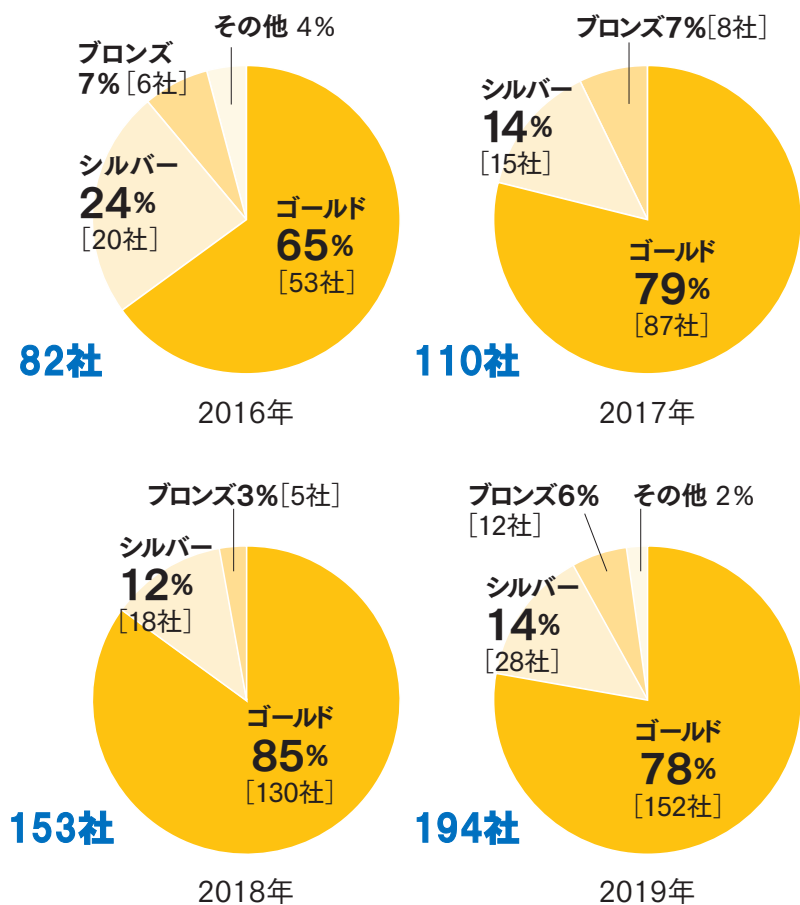
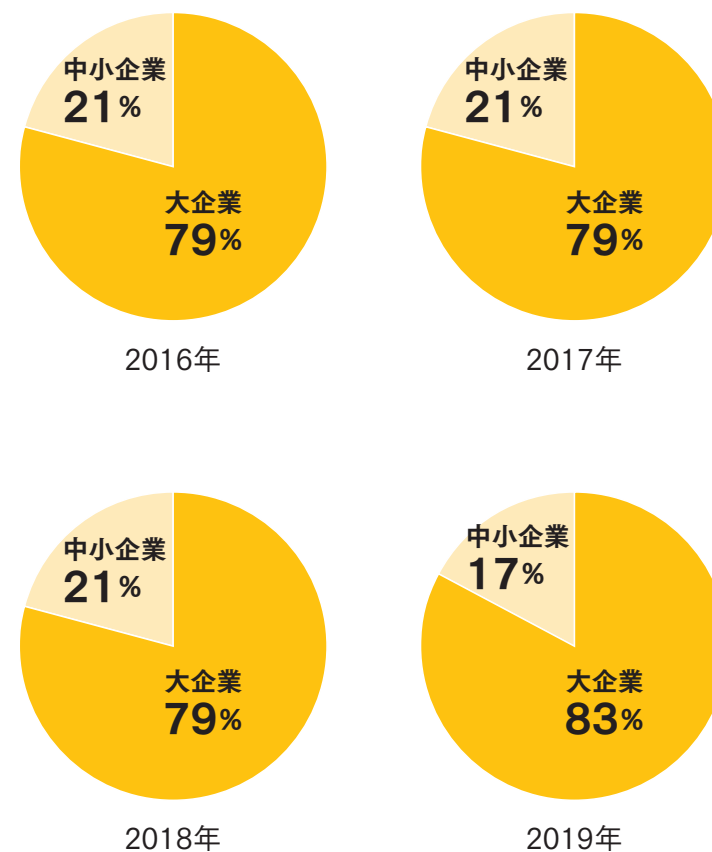


図2 ● 応募企業・団体の内訳 [企業・団体規模]



「PRIDE指標 2020」について (5/6)

- ベストプラクティスの応募欄を新設しました。
ベストプラクティスの応募は任意、採点に影響はありません。
- 応募フォームには簡単なアンケートが添付されています。回答は任意、採点に影響はありません。
「work with Pride 2020」カンファレンス及びレポートに活用させていただきます。
 - 1) 継続アンケート：制度利用の状況
 - 2) 新規アンケート：コロナ禍での取組み
- 応募は、可能な限り社名公開をお願いします。

●TOTO株式会社

性的マイノリティの
公共トイレ利用に関する
調査結果を公表



●東日本旅客鉄道株式会社

当事者社員を対象とした
「LGBTネットワーク交流会」
を実施

LGBT社員に対するスタンス

- 性的マイノリティについて「知る」
- 制度や従来のスタンドを「変える」
- 意識改革、理解の輪を「広げる」

●日本航空株式会社

国内初、
LGBT ALLY チャーター便
を運航



●株式会社LIXIL

オフィストイレの
オールジェンダー利用に
関する調査結果を公表



「PRIDE指標 2020」について (6/6)

<応募時での注意事項>

- **Excelファイル**にて、応募ください。
- Excelのファイル名は、**社名を半角英数字（アルファベット）**にて記入いただき送付をお願いします。（全角カナ（日本語）のファイル名は、文字化けの可能性があるので協力お願いします。）
- 提出先のメールアドレスは、**apply@workwithpride.jp**
(**contact@workwithpride.jp**、は問合せメールアドレス)

Q&A

Q：応募期間中に分社化を予定していますが、新会社は分社化前の実績で応募できますか？

A：元となる実在した会社があり、そこから分社化により新会社ができる場合は、分社化前の会社の実績にて応募いただくことができます。

Q：参加予定だった社外イベントが中止になりましたが、社内周知で認めていただけますか。

A：参加予定だったイベントが中止となった場合、予定でのカウントはNGとなります。対象期間を2ヶ月延長させていただきます。今後開催予定のLGBT関連のイベントも計画されていますので、新たな社外イベントへの参加をご検討お願いします。

Q：応募後、受領した旨の返信はいただけますか？

A：応募先のアドレスapply@workwithpride.jpより、メール受信後、受領した旨のメールを送信者宛にお送りしております。

場合によっては、受信側で迷惑メール扱いになり、届かないという場合がございますので、apply@workwithpride.jpからのメールが届くよう、設定いただけますようお願いいたします。

Q：11月のオンライン表彰では、後半にセッションもオンライン開催されるのでしょうか？

A：11月開催予定のオンラインカンファレンスでは、表彰およびセッションを開く予定で検討を進めています。

Q：子会社なのですが、独自に取り組みを行う場合は、親会社関係なく評価をして頂ける認識であってますでしょうか？

A：登記された法人であれば、親会社のある子会社単体でのご応募は問題ございません。

グループとして応募される場合は、グループ会社全ての会社で項目をクリアする必要があります。

Q&A

Q：社外イベントの件について参加予定だったイベントは中止となりましたが、協賛など代替の活動したことについては周知として認められますか？

A：中止となったイベントの周知は、周知としてカウントされません。

Q：HP上に「応募企業が多数となった場合は、採点企業数を先着順で限定させていただく場合があります」と記載されていますが、表彰企業数の枠があるという認識でしょうか？

A：表彰企業数の枠はございません。応募期限ギリギリのご応募が多く、集中するため、できる限り早いタイミングでのご応募をいただけますようお願いします。

Q：応募添付資料については、活動実績の別途資料（研修資料や写真など）の準備の必要はありますか？

A：応募の際は、応募フォームのexcelに必要事項をご記入いただき、そのexcelデータをお送りいただき、確認させていただきますので、その際別添資料は必要ございません。ご応募内容と実態が異なる情報が入った際など、確認が必要な場合、必要に応じて活動実績の資料提出を別途お願いする場合がございます。

今回新設となったベストプラクティスへのご応募をいただく場合、別途ベストプラクティスの内容について確認をさせていただく場合がございますので、写真や資料等をご用意いただき、応募の際、合わせてお送りいただくと幸いです。

Q：2021年からの受賞基準をさらに厳しくする予定、とありましたが、詳細はいつくらいに発表となりますか？

A：現在はまだ発表時期は未定ですが、11月のカンファレンス前までには発表できるよう検討を進めていく予定です。決定次第、work with Pride WEBサイトおよびリリース等で発表いたします。

Q：PRIDE指標は広く認知された指標だと思うのですが、国内に同様の指標は他にありますか。

A：現在国内で同様に広く応募ができる指標は「PRIDE指標」のみとなります。

Q&A

Q：表彰ロゴマークの使用期間について、2019年度「PRIDE指標2019」の表彰ロゴマークの使用可能期間を教えてください。

A：昨年ので発表した2019年10月11日から2020年の11月開催予定のwork with Pride 2020カンファレンス（PRIDE指標2020の表彰タイミング）まで使用可能です。

Q：紙資料の場合、入稿後、納品までに時間がかかり、入稿時は2020年11月前でも、発行は2020年11月になってしまう可能性があります。その場合は2019年のロゴは掲載できないということでしょうか。

A：2020年11月以降に発行する発行物につきましては、2020年度の表彰ロゴマークをご使用ください。

採点后、採点結果発表のご連絡の際、表彰ロゴマークはカンファレンス前にお送りする予定ですので、ご調整いただけると幸いです。もしタイミングがどうしてもスケジュールが合わないという場合は、2019年度の表彰ロゴマークをご使用について個別にご相談ください。

Q：ロゴは企業の受賞歴掲載ページや、サステナビリティレポートなどでは1年間に限らず利用できますか？

A：継続してご応募いただいている場合、最新の表彰ロゴマークと合わせての場合に限り、過去の表彰ロゴマークも併用可能です。

Q：来年度以降応募が難しかった場合、ロゴは利用不可と理解していますが、過去に取得したこと自体は公表可能でしょうか。

A：最新の表彰ロゴマークと併用いただく場合のみ、過去の受賞については掲載は可能です。

PRIDE指標については、年度によって見直しを行っております。また、企業の取り組みの現在の状況を確認するための指標となっています。最新情報をお伝えできるようにしたいと思っていますので、最新情報の掲載をお願いいたします。